

サッカーの聖地、  
そして福島復興のシンボル!

# Jヴィレッジ

1997年のオープン以来、W杯サッカー日本代表を始め数々のトレーニングキャンプが行われてきました。東日本大震災に伴う原発事故で一時休止しましたが、2019年4月に全面再開。トレーニング施設がさらに充実、ホテルもリニューアルしました。

## すべての人々に開かれた アスリートたちの聖地。



充実した設備を誇るJヴィレッジは、日本を代表するスポーツトレーニング施設。サッカー日本代表のキャンプもしばしば行われているこの施設は、実は子どもから大人まで、スポーツ以外でもどなたでも気軽に利用できます。

〒990-0001 福島県いわき市 桜井町山田岡字美森8  
JR常磐線 Jヴィレッジ駅 徒歩約5分  
または木戸駅から徒歩約20分  
株式会社 Jヴィレッジ ☎ 0240-26-0111

Jヴィレッジのさらに詳しい情報はこちらから...

Jヴィレッジ <https://j-village.jp/>



ラグビーやアルティメットもOK!

### 屋外フィールド(天然芝ピッチ・人工芝ピッチ)

天然芝8面(スタジアムを含む)、人工芝2面のピッチはサッカーだけでなくラグビーやアルティメットなどにも最適! スポ少や学生の大会や合宿も行われています。ピッチ周囲の遊歩道から間近で応援できるのも魅力です。

車も! 自転車も!

### カーシェアリング

Jヴィレッジ駅で電車を降りて、郡内のあちこちに車で足を伸ばすなど、旅の楽しみが広がります。(要事前登録)

### レンタサイクル

宿泊者限定でレンタサイクルを行っています。自転車だから発見できる、穴場スポットを見つけてみませんか。(要予約)

### サッカーだけじゃない! 双葉郡のイベント拠点

大規模イベントも開催できる広い敷地を持つJヴィレッジ。サッカーはもちろんのこと、それ以外にも様々なイベントが行われています。

#### インターハイ男子サッカー

2024年度から全国高校総体(インターハイ)男子サッカー競技が、Jヴィレッジで毎年開催されます。

#### Jヴィレッジハーフマラソン

Jヴィレッジを発着点に広野町、楡葉町を走るハーフマラソン大会。コースのアップダウンも魅力の一つ。

#### まなび舎Jヴィレッジ

シニア世代の趣味や生きがいづくりのために、「多彩な講座を開設。充実した施設が大好評です。」



サッカーファンにうれしい。

### Jヴィレッジ駅

Jヴィレッジまでは徒歩5分。構内にはサッカーにちなんだ躍動感あふれる階段アートやゴールポストをイメージした事務室も。道の駅ならではのニツ沼総合公園へも徒歩圏内。



### ホテル

ワーケーションにも最適。会議室やホールを備え、旅行やスポーツ合宿だけでなくビジネスにも便利です。

### Jヴィレッジの歴史がココに! J-VILLAGE STREET



サッカーの聖地としての歴史、原発事故後の記録、復興再生の歩みを紹介。貴重なサイン入りユニフォームも展示しています。

全館に便利なホール!



### 4F サッカーの 願い事がかなう!? 蹴球神社

センターハウスの4階にあります。絵馬(1階ショップで販売)に願いを記し奉納できます。



ピッチを眺めながら  
ランチ&ディナー。

### レストラン 「アルパインローズ」

福島県産の食材をふんだんに使ったメニューを、どなたでも楽しむことができます。



### Jヴィレッジグッズや 福島土産をゲット! ショップ

Jヴィレッジ限定のオリジナルグッズや、福島県産品などを多数取り揃えています。



いつでも気軽に肉体改造。

### フィットネスクラブ

最新鋭のマシンを備えたジムのほか、プールやアリーナなども完備。宿泊客以外も利用OK!



幼児から中学生まで、年代に合わせて育成。

### Jヴィレッジ スポーツクラブ

周辺地域の幼児から中学生の子どもたちが所属するクラブ「J-VILLAGE S.C.」を運営。無料体験もあります。



各種イベントも開催される屋内施設。

### 全天候型練習場

人工芝のピッチの全面が膜屋根に覆われ、天気に関係なく常にベストコンディションで利用できます。スポーツだけでなく、ドローンレースや各種イベントの会場としても活用の幅が広がっています。

### Jヴィレッジ・歴史

センターハウス1階のJヴィレッジストリートでご覧になれます。

### 1997年開設、 日本サッカーの聖地に

最高レベルの天然芝をはじめとする充実した施設で、多くの代表選手等がトレーニングを行い、日本サッカーの発展に貢献しました。



日本初のサッカーナショナルトレーニングセンターとして開設



全日本少年サッカー大会

### 原発事故の収束拠点となった Jヴィレッジ

天然芝は削り取られ、砂利の駐車場に。事故収束の拠点として、まさに前線基地となって原発事故の収束と復興を支えました。



天然芝のピッチは関係車両の駐車場に



ロビーには防護服などの資材が入った段ボールの山が

### 復興のシンボルとして再始動

ピッチの緑と子どもたちの笑顔が戻りました。福島復興のシンボルとして、東京2020オリンピック聖火リレーの出発地になりました。



再生したピッチに子どもたちの歓声が響く



全天候型練習場から聖火リレーがグランドスタート